

平成25年度第2期えるのす連続講座～女性大学～ 社会とつながり、心豊かに 開催結果の概要

月日	演題	講師
9/24 (火)	子どもの貧困とは何か	札幌国際大学短期大学部幼児教育保育学科 講師 山内太郎
10/1 (火)	北海道農村社会とジェンダー	札幌学院大学社会情報学部社会情報学科 教授 小内純子
10/8 (火)	ストレスと高血圧・心臓病	札幌医科大学医学部公衆衛生学講座 准教授 大西浩文
10/15 (火)	都市環境をコミュニケーションから考える	札幌大谷大学社会学部地域社会学科 准教授 西脇裕之
10/22 (火)	日本の医療保険制度は これからどうなるのだろう	北星学園大学社会福祉学部福祉計画学科 教授 安部雅仁
10/29 (火)	観光消費行動からみる現代アジアと北海道	藤女子大学文学部文化総合学科 専任講師 金戸幸子
11/5 (火)	「遺言」から見る相続紛争 —自筆証書遺言を中心に—	札幌学院大学法学部法律学科 准教授 佐々木健
11/19 (火)	宇宙のなぞ	北海道大学大学院理学研究院 教授 羽部朝男
11/26 (火)	光源氏と紫のゆかりの女君	札幌大学地域共創学群 教授 田中幹子
12/3 (火)	現在（いま）を知る	北海道新聞社 論説委員 貴志雅之

平成25年9月24日（火）



子どもの貧困とは何か

札幌国際大学短期大学部幼児教育保育学科講師 山内太郎

「貧困」が子どもの育ちに良くない影響を及ぼすというのは多くの人が想像できることかと思えます。しかし、それは具体的に何かと問われると説明が難しいのではないのでしょうか？講義では、若年者ホームレスが増加しているとされる最近の傾向や、貧困問題を中心とした日本の家族のおかれている状況についてお話いただくとともに、「北海道の高校生意識調査」を取り上げながら、「貧困」が子どもにとってどういう経験として表出するのか、また、私たちにできることは何かについて考えました。

平成25年10月1日（火）

北海道農村社会とジェンダー

札幌学院大学社会情報学部社会情報学科教授 小内純子

男性も基幹的農業従事者として自家農業に従事する専業農家が多い北海道では、女性が地域運営や農業経営に参画するために超えるべきハードルが高く、本州に比べ女性の社会参画が進まない状況があります。講義では、北海道の女性農業者がおかれているジェンダー環境を概観し、その状況を変えていく試みとして、家族経営協定締結の試み、農業経営の専門性を獲得する取り組み、女性の起業化への動き、ネットワーク化の現状について紹介いただきました。



平成25年10月8日（火）



ストレスと高血圧・心臓病

札幌医科大学医学部公衆衛生学講座准教授 大西浩文

現代社会における急性・慢性のストレスは、血圧や心臓にどのような影響を及ぼすのでしょうか。講義では、日本人の脳卒中、心臓病の最大の危険因子である高血圧について説明いただいた後、ストレスが高血圧・心臓病を増やすメカニズムなどについてお話いただきました。そして、避けられないストレスも確かにあるが、ストレスのみが高血圧や心臓病に影響するわけではない。過食・運動不足・糖尿病など高血圧や心臓病の危険を高める要因に普段から注意しておくことが重要とお話いただきました。

平成25年10月15日（火）

都市環境をコミュニケーションから考える

札幌大谷大学社会学部地域社会学科准教授 西脇裕之

利用者へのマナーや注意を呼びかける放送や掲示。注意してみると街はこうした放送や掲示であふれています。これらが増加する理由とはどのようなもののでしょうか。講義では、管理表示・管理放送とはどのようなものかを説明いただくとともに、社会学とは何かについてお話いただきました。そして、なぜ管理表示・管理放送があふれているのか、なぜ大多数の人はそれが気にならないのか、管理表示・管理放送を減らすためには何が必要なのかについてコミュニケーションの社会学の立場から考えました。



平成25年10月22日（火）

日本の医療保険制度はこれからどうなるのだろう

北星学園大学社会学部福祉学部福祉計画学科教授 安部雅仁

わが国では、少子高齢化が進む一方、経済不況の長期化と財政赤字の慢性化のなかで、社会保障制度の見直し、財政再建が重要な課題になっています。講義では、社会保障に関する基本問題をふまえたうえで、社会保障のなかから「医療」を取り上げ、医療費の動向と近年の課題を整理して、「社会保障と税の一体改革」の意味について考えました。また、医療技術の高度化に関する近年のテーマとして「移植医療」を取り上げ、これが普及した場合の功罪について検討しました。



平成25年10月29日（火）

観光消費行動からみる現代アジアと北海道

藤女子大学文学部文化総合学科専任講師 金戸幸子

1990年代後半に台湾・香港・韓国から始まった「北海道観光ブーム」は近年中国にも波及、その勢いはアジア各地に拡大しています。講義では、来道外国人観光客を対象としたアンケート調査結果や、アジア各地のメディアで北海道がどのように取り上げられているかを視聴覚資料で紹介いただきながら、アジアにおける「北海道観光ブーム」はいかにして起きたかについてお話いただくとともに、これからの北海道とアジアとの関係について、その発展に向けての課題と展望について考えました。



平成25年11月5日（火）

「遺言」から見る相続紛争—自筆証書遺言を中心に—

札幌学院大学法学部法律学科准教授 佐々木健



相続が「争族」にならないよう、遺言の重要性がよく説かれます。講義では、相続制度とはどのようなものか、遺言はなぜ重要かについてお話いただくとともに、「自筆証書遺言」と「公正証書遺言」それぞれの長所と短所、そして自筆証書遺言の作成時の注意点などについて、実際に裁判で問題となった遺言事件を例にあげながら解説いただきました。そして、残された家族にとってどんな形の遺言がよいか、後の紛争を避けるためにも法律専門家への相談が重要とお話いただきました。

平成25年11月19日（火）

宇宙のなぞ

北海道大学大学院理学研究院教授 羽部朝男

宇宙には、だれでも興味があります。しかし、理解しがたい内容も多く、ビックバン、宇宙膨張、ダークエネルギーなど、興味をそそる言葉が何を指しているのか、宇宙の膨張の始まりの前はどうなっているのか、膨張の外側はどうなっているのか、宇宙は何に対して膨張しているのか、などの疑問もあります。講義では、こうした疑問を意識しつつ、現代の物理学と天文学が宇宙について、何を根拠にどのように理解しているのか、何が分かっているのか、何が分かっていないのか、何が謎なのかについてやさしく解説いただきました。



平成25年11月26日（火）

光源氏と紫のゆかりの女君

札幌大学地域共創学群教授 田中幹子



源氏物語の主人公・光源氏を取り巻く女君の中で特に重要な三人の女性、桐壺、藤壺、紫の上は「紫のゆかり」で結ばれていました。講義ではまず、紫草が大変貴重で高級なものであったことを説明いただくとともに、紫草を取り上げて詠んだ歌をいくつか紹介いただきながら、「紫」に対する古代の人々の特別な思いについてお話いただきました。そのうえで「紫のゆかり」を軸に改めて物語を読み、千年の時を経てもなお強烈な魅力を放つ源氏物語に込められた「紫」への思いを考えました。

平成25年12月3日（火）

現在（いま）を知る

北海道新聞社論説委員 貴志雅之

今年で10年目を迎えた高橋道政。世論調査は高い支持率を示しています。講義では、企業誘致や地産地消、フード特区など高橋知事がこれまでに取り組んできた経済政策や、厳しい道財政の現状にふれながら、これまでの高橋道政を考えました。また、過疎集落に対する道のモデル事業の取り組みを紹介いただきながら、高齢化、人口減少が進むなか地域が生き残っていけるのか、長期スパンで対策を考えることの必要性などをお話いただき、北海道の将来について考えました。

